

平成19年5月8日

高速バスロケを活用した乗り継ぎ社会実験 検討委員会の開催について

九州縦貫自動車道と九州横断自動車道が交差する鳥栖ジャンクションに近接した基山パーキングエリアにおいて、高速バスロケを活用した公共交通結節点強化による地域間移動の利便性向上や観光をはじめとする地域活性化を図ることを目的として乗り継ぎ社会実験を検討するための委員会を下記のとおり開催します。

※高速バスロケ：高速バスの位置情報提供システム

記

○ 開催日時：平成19年5月10日（木）10:00～12:00

○ 開催場所：福岡第二合同庁舎 2階 共用第2会議室

○ 委員会委員：

- ・ 委員長 福岡大学工学部社会デザイン工学科教授 井上 信昭
- ・ 主 査 九州産業大学工学部都市基盤デザイン工学科准教授 辰巳 浩
- ・ 委 員 学識経験者、NPO法人、バス事業者、西日本高速道路（株）、佐賀県、基山町、国土交通省九州運輸局・九州地方整備局・佐賀国道事務所・国土技術政策総合研究所

○ 議事内容：社会実験の具体的な実施内容、スケジュール等を検討

※ なお、当日取材を希望される場合は、冒頭のみ可能ですので事前に連絡願います。

※ 委員会の内容については、委員会後に報告致します。

<検討委員会に関する問い合わせ先>

「高速バスロケを活用した乗り継ぎ社会実験検討委員会」事務局

(事務局代表) 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長 三保木 悦幸
専門官 浅井 博海

TEL092-471-6331 FAX092-476-3478

高速バスロケを活用した乗り継ぎ社会実験

検討委員会（第2回）開催について

◆◆◆ 社会実験の目的 ◆◆◆

九州における高速バスネットワークは福岡（天神バスセンター）を中心に形成されており、福岡以外の九州各県を直結する便が少なくなっています。

一方、高速基山バス停は、九州の十字型高速道路網の交点近くに位置しており、ここでの高速バスの乗り継ぎを促進することにより、福岡以外の九州各県を連絡するネットワークの充実を図ることができます。

こうした状況を踏まえ、国土交通省では、「高速バスロケを活用した乗り継ぎ社会実験」として、バス事業者等と連携し、高速バス利用者の利便性を更に向上させるため、高速バスのダイヤ改正を行い、高速基山バス停への停車本数を増加させるほか、高速基山バス停と隣接する九州自動車道基山パーキングエリア（PA）に高速バスロケーションシステムを活用した情報表示板を設置します。

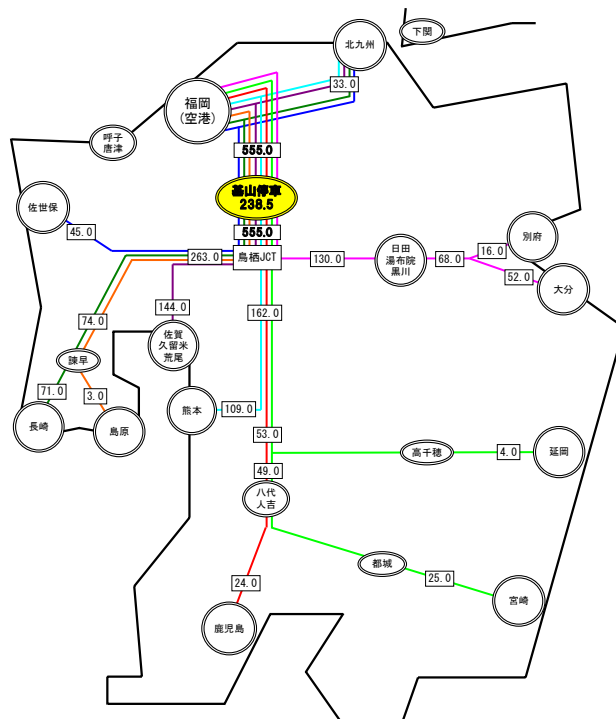


図 福岡を中心とした九州の高速バスネットワーク
(数字は、平成19年2月時点での、1日の往復便数)

◆◆◆ これまでの経緯 ◆◆◆

3月16日に検討委員会を設置し、各種課題や、社会実験・検討委員会の進め方などについて検討を行いました。3月末から4月にかけて、検討委員会メンバーで現地視察（高速基山バス停及び隣接する基山PA）を行い、高速基山バス停の課題について確認しました。

◆◆◆ 高速バスロケを活用した乗り継ぎ社会実験検討委員会の開催 ◆◆◆

1. 開催日時 平成19年 5月10日（木） 10:00～

2. 開催場所 福岡第2合同庁舎 2階 共用第2会議室

3. 検討委員会委員

- 委員長 : 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授 井上 信昭
 - 主 査 : 九州産業大学 工学部 都市基盤デザイン工学科 准教授 辰巳 浩
- その他、学識経験者、NPO法人、バス事業者、西日本高速道路(株)、佐賀県、基山町、国土交通省九州運輸局・九州地方整備局・国土技術政策総合研究所の関係機関の委員により構成されています。

◆◆◆ 検討委員会の議事内容（予定） ◆◆◆

○ 社会実験の具体的な実施内容、スケジュール等を検討

- * なお、当日の取材を希望される場合は、冒頭のみ可能ですので、事前に連絡をお願いします。
- * 委員会の内容については、委員会後に報告致します。

◆九州縦貫自動車道・基山パーキング配置図(現況)

